



呼吸器外科

選ばれる3つのポイント

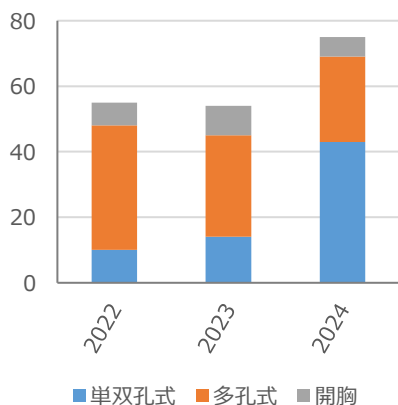
ご案内

- 1 患者さんの希望に合わせて早期発見・早期治療ができる
- 2 呼吸器内科と連携し、患者さんに合った医療を検討
- 3 単・双孔式胸腔鏡手術で傷が小さく痛みも軽減

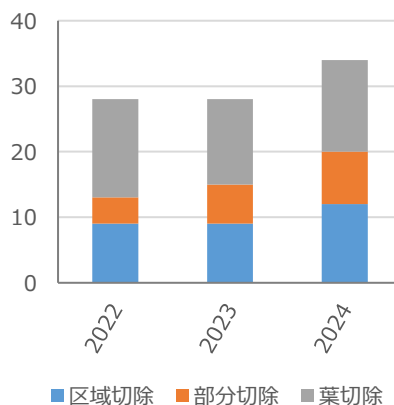
専門領域と治療内容の特徴

【対象疾患】 肺の悪性腫瘍、縦隔腫瘍、気胸等

当院の呼吸器外科では、呼吸器内科とも連携を図りながら、患者さんにあった医療を早期に開始できます。また、肺の悪性腫瘍手術では、当科では現在、80%以上の手術を胸腔鏡で実施しており、さらに近年ではより傷の少ない単・双孔式手術を導入しております。また、肺機能の温存と根治性の確保の両立が可能な区域切除が実施可能です。これら最新の治療を取り入れ、より痛みや体への負担が少ない治療を心がけております。



● 単双孔式・多孔式・開胸手術数



● 区域切除・部分切除・葉切除件数